



夜間の横断歩行者に注意！



札幌市内で道路横断中の歩行者が被害者となる重大事故が2件発生しています。いずれも夜間帯の発生であり、1名の方が亡くなっています。



夜間は日中に比べて見通しが悪く、ヘッドライトや街灯等を頼りに安全運転に努めなければいけません。以下の点に気を付けて交通事故のリスクを下げましょう。



人は歩いている

夜間だから「人はいないだろう」ではなく、「いるかもしれない」と運転しましょう。そう思うことで慎重な運転に繋がります。



ハイビームの使用

前车や対向車がない場合はハイビームの使用を。ハイビームとロービームではその照射距離に約60メートルの差があり、早期発見につながります。



スピードダウン

夜は車が閑散となりますが速度は控えめに運転を。速度が上がるにつれて歩行者等の発見時に回避措置が間に合わなくなる可能性があります。



運転に集中

市街地では、車と車の間から歩行者が横断していることも。運転中の携帯電話等の使用は交通違反であり、交通事故の原因となります。

北海道交通事故死者数（3月18日現在）11人（昨年比－8人）